

# キュウリのカルテック栽培

(10アール当り)

EC0005P-2(150303)

時期	方法	資材
本畑の地力作り	なるべく早い時期に投入し、なるべく深く耕耘します  (定植までに20日以上の間隔をおいて下さい)	<b>ラクトバチルス 600g</b> …通気・保水・保肥性がよく、深層まで肥沃な土に。 <b>堆厩肥 2トン以上</b> (なるべく多く) ※前作の茎葉もなるべくスキ込み。  秋～晩春の促成ハウス・長期栽培(目標収量15トン)の場合 <b>尿素80kg</b> (N:40kg前後) ※堆厩肥が少ない場合には <b>硫酸カリ60kg</b> 追加 初秋～冬の抑制栽培(短期), 夏キュウリの場合 <b>尿素60kg</b> (N:30kg前後) ※堆厩肥が少ない場合には <b>硫酸カリ40kg</b> 追加  ※このチッソは微生物により有機化・地力化して、ジワジワと効きます。定植時には土壌EC:0.2以下と、無機チッソが抑えられます。 ※キュウリ畑は多量のチッソにより必ず強く酸性化します。 <u>もし土壌pHが極端に酸性(pH:5.5以下なら、地力作りにも畑のカルシウム60kg(以上)を投入します(栽培中は40kg程度)</u> 。なお下記、整地時にも施します。
本畑の整地時	整地・ウネ作り時に散布  (全面散布、及びウネ上への散布)	<b>畑のカルシウム</b> (または <b>カルテックCa粒状</b> ) <b>60kg</b> (以上) ※ハウスで、土壌が特に高pH・高ECの場合のみ、 <b>カルテックCa粒状</b> 。 ※カルシウム量はチッソ量以上に、 <u>多めの施用</u> をお勧めします。 ※もし特に心配な園で農薬の土壌消毒をした場合は、毒性が抜けた後に米ヌカ等に混ぜて、 <b>ラクトバチルス</b> を補ってください。
育苗	床土(培土)	培土に <b>畑のカルシウム</b> 3%ほどを混和しておくか、1ポット当り30グラムを置き肥すると、徒長せずガッシリ充実した苗ができます。
	散水時に散布(葉面散布・灌水)	<b>濃縮酵素液(500倍)</b> …根を強く動かし、生長を促進、シオレ防止 <b>カルテックCa液状(500倍)</b> …茎葉を厚く充実させ、健全な体質を作る ※播種後、接木まで 毎日～3日間隔、1000倍の <b>交互</b> 散布で茎が太くなる。 ※接木4日後から、3～7日間隔で、最初だけ1000倍、以後500倍で交互に、葉上からタツプリ散布。(ただし状態により適宜選択)。 ※定植5日前には、苗の引締め・仕上げに、 <b>Ca液状</b> を散布し充実させる。
植付け時	苗のドブ漬け・植付け直後の灌水	<b>濃縮酵素液 500倍液</b> …活着・初期の根張り促進 《必須》 ※線虫・ツル割れ・ツル枯れ病の軽減。モザイクもかなり抑制。
定植後1ヶ月(収穫開始の前)	(根と体質を作る) <b>初期の灌水使用</b> (または葉面散布)	① <b>濃縮酵素液 2～5リットル</b> 灌水(倍率は200倍以上、適宜) ※定植から半月間のうちに、 <b>タツプリ深く灌水</b> し、太根を伸ばします。(通路中央に穴を掘ってあれば、20日前後でそこに根が達します。) ② <b>カルテックCa液状 2リットル</b> 灌水(200倍以上、適宜)または葉面散布 ※定植後20日頃に、カルシウムを与えて、雌花の開花を健全にします。
収穫中の灌水	<u>半月(または1月)の周期で、灌水施用</u> 3種を繰返し	① <b>濃縮酵素液 2～5リットル</b> 灌水 …根の強化・尻太などの解消 ② <b>アミノ酸液</b> (または自家製アミノ酸液肥) <b>20リットル</b> 灌水 …栄養補給 ③ <b>カルテックCa液状 2リットル</b> 灌水(または葉面散布)…引締め・生殖生長
追肥	(収穫開始後1ヶ月以降、1～2ヶ月ごと)	<b>硫安 20kg(～30kg)</b> 上記の灌水施用で不足な場合、状態により <b>畑のカルシウム 20kg(～40kg)</b> 硫安と <b>同時施用</b> して栄養バランスを維持 ※栽培中に土壌が酸性(高EC)になった時は、 <b>カルシウム</b> で回復します。
葉面散布	(栽培中の草勢調節) <b>葉面散布</b> (7日ごと交互、適宜)	<b>カルテックCa液状 500倍</b> …雌花を強くする、べト病・褐斑病の発病時。 <b>濃縮酵素液 500倍</b> …根・導管の強化、草勢維持、肥大促進、茎葉生長。 ※灌水施用(及び追肥)で間に合わない速効的な微調整。 <u>農業には酵素混用を。</u>



カルテック農法ではイボが多いのが特長

カルテック農法では強い花が咲きます。



慣行農法ではイボが少ない